



神崎市議会だより

あやとり

今回から新しい愛称で発行します

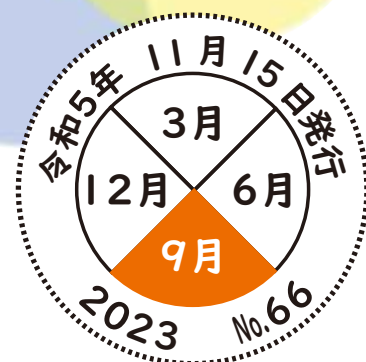
“あやとり”が形を変えながら様々な模様を作っていくように、神崎市議会と神州市のみんなで、文化や人との繋がりを作って、和を広めていけたらいいなどの思いが込められています。
※タイトルロゴは、発案者の神崎中学校1年生の千住さんがデザインしてくれました。



愛称決定に伴う記念品贈呈式
→P20にて特集記事

9月定例会

12月定例会は12月1日開会予定です。



予算はどのように使われているの？

おもな補正予算を紹介します

8月臨時会・9月定例会の補正予算総額 **12億1,444万円**

令和5年8月10日に臨時会が開かれ、財産の取得、補正予算についての議案が上程され、全会一致で可決しました。（補正予算第5号にて5億5,077万6千円を追加）

9月定例会は、令和5年9月1日から10月5日までの35日間開かれ、一般質問に13人が登壇し、神崎市政全般について質疑を行いました。補正第6号で5億3,723万6千円、補正第7号で1億1,950万5千円、補正第8号で56万5千円、補正第9号で635万8千円を追加し、総額224億1,719万9千円となりました。

7月豪雨災害の復旧事業

農地・農業用施設災害復旧事業 8,663万6千円

（事業内容）

大雨、洪水、高潮、暴風、その他異常な自然現象により、被災した農地・農業用施設の迅速かつ適切な災害復旧と農業生産の維持を図るとともに、農業経営の安定に寄与する。令和5年7月豪雨による災害について、8月30日に激甚災害に指定されたことにより、国庫補助災害に該当しない小災害の復旧に対し、神崎市小災害復旧事業補助金交付要綱に基づき、補助金を交付する。

九年庵での演奏会

観光総務費（九年庵 with Talking Bass事業） 30万円

（事業内容）

神崎市の観光資源である「国の名勝九年庵」の新たな魅力を創造することで九年庵の価値を高め、「観る場所」から「過ごす、学ぶ、触れる場所」へと進化する九年庵を市内外へ情報発信することで神崎市のイメージアップと新たなファンの創出を目指す。



▲九年庵 with Talking Bass

おもな質疑

Q コントラバス演奏はミニライブ的に開催するのか。

A 九年庵は築130年ほど経っており、これまで一切建物内に人を入れていなかったが、今回未来の子供たちに九年庵に触れてもらうために限定で開催する。

まちの魅力PR！

神埼市まちの魅力PR事業 1,760万円

（事業内容）

地場産品や観光地など神埼市の魅力を紹介する冊子及び電子情報雑誌を活用したシティプロモーションにより、知名度アップや観光客誘致、移住・定住促進への取り組みを図るとともに、ふるさと納税の増加に繋げる。

※主なプロモーションプランニング…①専用電子雑誌（俳優（タレント）等起用）

②専用紙冊子（2万部作成）

③専用動画（30秒・180前後の2パターン）



おもな質疑

Q 費用対効果など、実際行っている市町の効果の検証はされているのか。また、効果が出るのはいつごろからと考えているのか。

A この事業を実施された他自治体の実績を基にした期待値であるが、観光客では5.8%の増が期待でき、またふるさと納税では他の自治体平均及び制度変更も加味し、30%の増と見込んでいる。効果がでるのは、令和5年度末からで、実質的には令和6年度になってくる。

礼儀作法を身に付けよう

神埼市礼儀・作法ハンドブック印刷製本費（小中学校教育振興総務費） 62万1千円

（事業内容）

市内小中学校の児童・生徒に「基本的な生活習慣」を定着させるため、製作したハンドブックを配布・活用して具体的な礼儀・作法を視覚的に捉えさせ、礼儀・作法の早期定着を図る。また、このことを通して、児童・生徒が小中学校教育において、「確かな学力」を身につけるための素地を育成する。ハンドブックの素案が固まり、今年度中に事業を実施し、より多くの児童・生徒にハンドブックを配布して活用させる。

おもな質疑

Q 事業内容に、「礼儀作法の基本は、本来家庭において、家族から学び実生活の中で身につけていくが、今は、その役割が学校に求められるようになった」と記述されているが、このハンドブックは家庭から求められて作成するのか、それとも学校から求められているという感じを受けて作成するのか。礼儀作法について、教育委員会としてはどのように考えているのか。

A ハンドブックの作成は、保護者の要請によるものではない。礼儀作法、マナーは大事であると学校は考えており、学校では国語の時間に敬語の学習をしたり、講師を招いて中学校ではマナー講座を行ったりしている。また、小学校ではマナー検定を行っている。

予算特別委員会のQ & A

補正予算の審議について、質疑を抜粋して紹介します。

農地・農業用施設災害復旧事業 3億445万4千円

（事業の目的）

大雨、洪水、高潮及び暴風その他異常な自然現象により、被災した農地・農業用施設の復旧を行い、農林水産業の維持、農業経営の安定を図る。

Q 災害査定を受ける前に、応急工事が必要なこともあるが、どのように検討されているのか。

A 城原川からの用水施設などが多数損壊し、農業用水が確保できない。このため、40万円以下の災害復旧費で通水にかかる応急復旧にかかる工事費が20万円以上あれば災害査定に含めていいことになっている。

Q 小災害、40万円の工事費で6万円の負担、年金生活者では20カ所もあれば負担は無理である。補助金の嵩上はないのか。

A 現在の負担金は、40万円以下で85%の補助になっている。離農とならないよう他市町の状況を見ながら検討していきたい。



▲7月の豪雨災害の様子

DX推進事業（生成AI活用費） 99万円

（事業の目的）

業務の効率化、情報の共有及びデータ分析などを容易にする環境を整備することで事務の効率化や行政サービスの品質向上を図る。

Q 行政サービスの向上とあるが、どういう行政サービスを享受できるのか。

A 行政専用のチャットGPTの活用を見据えており、大量のテキストデータを学習し文書を自動的に生成することができる。例えば長文の簡略化・法規制に添った企画立案等に活用でき、時間の効率化により市民サービスに傾注できることになる。

私立保育園等食材費支援事業 1,051万4千円

（事業の目的）

市内の私立保育園等へ給食食材費等の一部を補助することで、物価高騰の影響を受けることなく、これまでと同様に栄養バランスや量を保った給食を安定的に提供していくことを目的とする。

Q 月額単価（国）×価格上昇率（18%）×12ヶ月とあるが、この12ヶ月というのは、いつを起点とした12ヶ月なのか。

A 年度間ということで令和5年4月から令和6年3月までの12ヶ月となる。



▲保育園給食

決算特別委員会の Q & A

決算特別委員会とは・・・

予算が適正かつ妥当に使われているか、審査を行う特別委員会です。神埼市議会では令和 5 年度においては、議長、議会選出の監査委員を除く 15 名で構成されました。決算特別委員会での主な質疑について紹介します。



総務企画部

地域公共交通確保維持改善事業

Q

地域公共交通確保維持改善事業の中で、10月から巡回バスの運行ダイヤの改正がされたが、その成果は。

A

利用者の要望により15カ所のバス停を増加した。利用者は、令和 3 年度は 3,527 人、令和 4 年度は 2,528 人と下がっているが、身近な交通移動手段として今後とも調査分析を重ね取り組む。



▲神埼市巡回バス NORARU

定住促進対策事業等について

Q

定住促進対策等は、どの自治体も行っているが、この実数の状況を踏まえ今後どのような対応をしていくのか。

A

実績の状況、その年により上がり下がりはあるが、神埼市としてできる人口対策を今後とも工夫を入れながら進めていく。

幸せなごう かんだき

神埼市定住促進住宅取得補助金

定住促進住宅取得補助金とは、定住促進住宅の取得に際して、市が定める要件を満たす場合に、補助金を交付する制度です。

3世代同居世帯 130万円の補助金!

3世代同居世帯の認定を受け、定住促進住宅を取得した場合、130万円の補助金を交付します。

認定要件:

- ① 世帯主が神埼市に住所を有すること。
- ② 世帯内に3世代同居していること。
- ③ 定住促進住宅の取得に要する資金が、市が定める要件を満たすこと。
- ④ 定住促進住宅の取得に要する資金が、市が定める要件を満たすこと。

神埼市三世帯・新居世帯同居等 促進住宅リフォーム補助事業

子育て世帯または高齢世帯が、子育てや介護などを行うために、既存の住宅をリフォームし、定住促進住宅とする場合に、補助金を交付する制度です。

補助対象となるリフォーム工事:

- ① 子育て世帯向け: 子供部屋、トイレ、バス、キッチンなどのリフォーム。
- ② 高齢世帯向け: 浴室、トイレ、バス、キッチンなどのリフォーム。

神埼市定住・空き地情報登録制度

定住促進住宅の取得に際して、市が定める要件を満たす場合に、補助金を交付する制度です。

登録要件:

- ① 定住促進住宅の取得に要する資金が、市が定める要件を満たすこと。
- ② 定住促進住宅の取得に要する資金が、市が定める要件を満たすこと。

▲神埼市の定住促進をPRするパンフレット

市民福祉部

D X 推進事業総合窓口キャッシュレス決済導入事業

Q

この事業の周知の方法はどのようにされているのか、また利用された市民の反応、感想について伺う。

A

周知の方法は、市報、市のホームページに掲載している。また、窓口には張り紙、デジタルサイネージにて情報発信している。スマホ、クレジットカードなどによる支払い方法が増えたことで、便利になったとの声を伺っている。



▲キャッシュレス決済について周知を行う（市民課窓口）

産業建設部

地域協働推進事業

Q

地域協働推進事業の要綱の中に、採択基準があるのか。

A

補助要綱の中で、道路は、市道、里道。河川は準用河川法定外水路、についての維持管理、整備に関して、機械借上げのリース料100%補助、里道・法定外水路であれば50%の補助となる。

（例年7月の区長会において、次年度の要望調査を行っている）

教育委員会

神崎市学校給食共同調理場管理費

Q

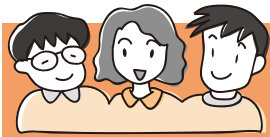
学校給食共同調理場において、事故や異物混入はあったのか。

A

昨年度、混入は6件あった。内容は髪の毛が1件、虫が3件、ビニール片が2件であり、危険物の混入はなかった。



▲共同調理場での調理風景



賛否があった議案を紹介します。

議案第59号 令和4年度神崎市国民健康保険事業特別会計 歳入歳出決算認定について

議案番号	議決結果	田原 和幸	野副 芳昭	大野 秋人	末次 勝	増田 紀之	徳川 博人	副島 英樹	平山 文也	服巻 玉美	中野 均	野口 英樹	白石 昌利	原口 ひさよ	木原 憲治	永沼 彰	福田 清道	佐藤 知美
議案第59号	賛成多数		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×

田原和幸議員は議長のため採決に加わっていません。

〈議案に対する反対討論〉 福田 清道 議員

第59号議案に反対の立場から討論する。

国保事業が県一本化となり、市の国保行政の権限が狭められる中、市の国保行政は市民の「いのちと健康」を守るため、国保税延滞者に対しては短期保険証で対応し、医療費全額を払わなければならない資格証明書の発行をしていない。これは県内20の自治体の中では神崎市だけである。また国保税値上げをせず努力していることは評価するものである。

しかし、令和4年度予算に対する収入未済額の比率は、11.35%、令和3年の同比率は、10.66%と増加している。これは市民の生活が一層苦しくなっていることの反映である。

日本共産党神崎市議団は高すぎる国保税引き下げのため、国の負担割合を元に戻すことを一貫して国に要求している。さらに市に対しては国保税引き下げのため、一般会計から国保会計への繰入れを毎年度要求してきている。国保世帯3,774世帯の国保税を年1万円引き下げるには、3,774万円あればできる。その努力がなされていない。

以上を指摘し反対討論とする。

〈議案に対する賛成討論〉 服巻 玉美 議員

国民健康制度は、相互扶助の精神であり、市町村住民を対象として、病気、けが、出産及び死亡の場合に保険給付を行う社会保険制度で、国民皆保険制度の基本であります。

県が財政運営を担い、市町ごとの給付金及び納付金を納めるために必要な標準保険税率を示すこととなりました。市は県が示した標準保険税率を参考に保険税率を決定し、賦課徴収を行っております。

神崎市においては、平成20年度から国民健康保険税率の変更は行わず、税収の不足分は国民健康保険財政調整基金からの繰り入れや、保健事業・国民健康保険税の収納対策等の取り組みで、県から交付される交付金を活用し、国民健康保険税の据え置きに努力されている状況です。

神崎市では、特定健康診査事業を始め、多くの事業を展開し住民の病気の予防をはじめ、疾病の早期発見に努めています。

そのようなことを鑑み、今回の令和4年度神崎市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の賛成討論とします。



神埼市民の願いを意見書にして国に届ける

〈意見書第2号〉

「健康保険証」の継続を求める意見書

健康保険証の廃止などを定めた改正マイナンバー法（行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律）が、第211回通常国会で成立し、政府は令和6年秋からマイナンバーカードに健康保険証機能を持たせた「マイナ保険証」の普及のため、現行の健康保険証を原則廃止するとしています。

厚生労働省はマイナンバーカードを取得しない人に対しては、健康保険証の代わりとなる資格確認書を発行する方針を明らかにしているが、資格確認書は被保険者による本人申請が必要となり、マイナ保険証を取得しない人は資格確認書の取得、更新の手続きが求められることとなります。

マイナ保険証には大きな利便性がありますが、医療保険制度は国民の生命に直接かわるものであり、受療権を守るためにシステムや制度は安全、確実なものとするのが求められます。

よって国においては、国民の不安の声を率直に受け止め、誰もが安心して医療を受けることができる社会保障制度を維持するため、現在の「健康保険証」を継続することを強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。

令和5年10月5日

佐賀県神埼市議会

内閣総理大臣	岸田 文雄 殿	総務大臣	鈴木 淳司 殿
厚生労働大臣	武見 敬三 殿	デジタル大臣	河野 太郎 殿
衆議院議長	細田 博之 殿	参議院議長	尾辻 秀久 殿

総務常任委員会行政視察研修報告

委員長 木原 憲治

今回、7月4日に大阪府茨木市を訪れ「大学と市議会との連携した取り組み」について、また茨木市文化・子育て複合施設「おにクル」について研修致しました。茨木市には6つの大学があり、充実している大学との連携を深め「まちづくり」に生かされています。市も大学の立地やその周辺整備に様々な支援を行ない「学園都市の機能」が充実され、特に「大学と市議会との連携協定」により議会との人的交流が盛んで大学の教授を招いての議員研修や勉強会が実施され議会活動が活性化されています。次に「おにクル」という施設名は、楽しそうで、怖い鬼さんも来なくなるようなところ」という、一般公募のアイデアを採用され、屋内子ども広場、多目的ホール、こども支援センター、図書館、プラネタリウム、市民活動センターが設置され、併せて災害時の



▲茨木市での視察の様子

備蓄倉庫や避難所機能も有しており、妊娠から出産・子育てまで切れ目ない支援を行ない、各種相談窓口をワンストップで提供され、各種検診室や一時保育室も完備され、利用者目線で細やかな工夫がなされています。翌5日は、佐賀県関西・中京事務所において、業務内容及び市町連携、情報発信の取り組みの研修と現地研修として兵庫県尼崎市の「ヤンマー・シナジースクエア」においてこれからスマート農業の技術、セキュリティ対策などを学びました。

文教厚生常任委員会行政視察研修報告

委員長 永沼 彰

7月13日、14日に広島県尾道市及び三原市にて、行政視察研修を行いました。尾道市「文化財の保存・活用、文化財を活かしたまちづくり」について。尾道市は平成22年度に「尾道市歴史文化基本構想」及び「文化財保存活用計画」を策定し、市民と行政が共同して歴史と文化を活かしたまちづくりを推進しています。策定の成果として、指定登録文化財の増加や観光客の増加などが挙げられます。旧銀行を改修し、尾道の魅力を伝えるために活用している施設もありました。本市でも文化財の保存改修や利活用に取り組んでおり、大変勉強になりました。ONOMICHIU2「歴史的建造物の活用の取り組みについて」について。ONOMICHIU2は海運倉庫を改修し、ホテルやカフェ、商業施設が一体となった複合施設です。地元生産品のショッパヤリノ



▲三原市児童館「ラフラフ」にて現地視察

ベーションした建物から、まちの特色・歴史を感じる事ができました。三原市「三原市児童館「ラフラフ」整備・運営事業」について。児童館の整備を行うにあたり、中高生が「新児童館ティーンズ検討委員会」として企画に携わり、課題の分析・改善の提案を行いました。児童館整備後の現在も、高校生はイベントの企画や子どもとの交流を行うなどして活動し、また利用する子どもや保護者も運営に関わっています。地域を巻き込んだ児童館整備・運営について大変参考になる研修でありました。

産業建設常任委員会視察研修報告

委員長 中野 均

産業建設常任委員会は、8月7日・8日で鹿児島県鹿屋市と出水市において、行政視察研修を実施しました。

まず、鹿屋市の「グリーンパイヤ栽培支援について」を研修しました。鹿屋市におけるグリーンパイヤの栽培は「大隅鹿屋パイヤ研究会」により平成29年から特産品化に取組まれており、現在は、加工品も含めインターネットを活用し全国に販路拡大されております。行政からの支援については、苗の購入助成、販売促進助成及び商品開発に係る経費の助成が行われており、官民連携して鹿屋市の新たな特産品開発に取り組まれていました。本市においても、新たな振興作物として青パイヤの試験栽培を行っている状況ですので、市民への認知度向上の取り組みやレシビ開発など大変参考となりました。

次に、出水市の「出水麓武家屋敷宮路邸利活用事業について」研修しました。



▲パイヤ作付状況現地視察（鹿屋市）

出水市においては、麓武家屋敷群という資源を最大限有効活用するために、空き家対策や近隣商店街の活性化を含めて後押しされており、古民家再生を中心とした地域振興を官・民一体となつて取り組まれています。現在、本市においても旧長崎街道神埼宿を活用し観光拠点づくりについて検討されています。限られた資源をどのように地域活性化につなげていくのか他の先進事例を参考にしながらも、本市独自の創意工夫が重要であると改めて感じることができ、大変貴重な研修となりました。

議会広報編集特別委員会行政視察研修報告

委員長 佐藤 知美

7月6日から7日に、佐賀県鳥栖市及び宮崎県都城市にて、「議会だよりの編集・発行」について行政視察研修を行いました。

鳥栖市では、平成30年に議会だよりに関するアンケートを行い、回答内容を参考としてリニューアルをされています。内容は「愛称をつける、市民参加のページの増」などであり、市民と議員が主体となることを大切にされています。愛称は募集を行い「とすきっふ」に選定され、表紙は市内の学校に作成を依頼されています。市民も主体となつた議会だよりの作成は、今後の取り組みにおいて大変参考になりました。



▲鳥栖市での視察の様子

くよう工夫されており、議会と市民の双方の取り組みとして大事な役割を果たされています。他にも、高校生との意見交換会の開催など、議会活動も活発に行われています。双方の先進的な取り組みについて大変勉強になりました。

今回の研修で学んだことを活かし、親しみやすい議会だよりを目指して、編集作業を行っていきます。

議会改革検討特別委員会の活動報告

委員長 野副 芳昭

9月20日に特別委員会を開催いたし、市民と議会との意見交換会の内容及び各分科会での調査・研究された項目について委員全員で確認を行いました。

市民と議会との意見交換会は、7月28日から7月30日の3日間、市内7ヶ所で開催し78名の市民の方々に参加いただいた貴重な市民の皆様方の声を直接拝聴することができました。ご参加いただきました市民の皆様には心から感謝申し上げます。

市民の皆様からいただいた様々なご意見・ご要望につきましましては、執行部と情報共有し対応などについて協力を依頼するとともに、所管事務調査を行う上での課題の一つとして位置づけ、取り組んでいきたいと思っております。

第1分科会では議会におけるタブレット端末などの導入についての調査研究がなされており、現在、令和6

年度中の端末及び会議ソフトの導入に向け、執行部との協議・調整が進められております。併せて、議会における端末管理・運用に係る基準等の制定に向けて検討中であります。

第2分科会では前回までに、政務活動費の手引き改正案について、特別委員会へ提出し、最終的に了承がなされました。

今後も、議会制度改革の推進に努め、より一層「開かれた議会」を目指すために、研究・検討を重ねてまいりたいと考えております。



▲議会改革検討特別委員会の様子

神崎市議会「意見交換会」を開催しました！

去る7月28日から30日の間、市内小学校区単位で7班を編成し、市民と議会の意見交換会を開催し、78名の市民の方の参加がありました。

7月10日の豪雨災害後でもあり避難所運営や災害復旧への対応の意見が多く、その他農業や道路対策・地区内環境対策などがあり、また市議会に対し広域道路網の整備促進のため、関係機関への働きかけもありました。

今回の意見交換会については、各班長の報告を受け全議員でその内容を確認し所管委員会での内容検討とともに、執行部と情報共有のため市長にその内容報告を行い、主な意見等につきましては随時議会だよりでその対応を報告します。

貴重なご意見をいただきありがとうございました。今後も皆様の声を議会活動に活かして参ります。



▲意見交換会の様子（脊振交流センター）

／執行部から今後の対応について、回答をいただきました／

「神崎市議会意見交換会において市民の皆様からいただいた意見要望等につきましては、全庁的に情報を共有し、今後の市政運営の参考にさせていただくとともに、担当する各部署においては、その対応方法について検討をまいります。また、主要な項目については、市議会へ回答をします。」



新設更新された江見排水機場内部

議員 今年の水害対策として、千代田東部地区（田手川より東エリア）では、7月10日の大雨時には、江見上流・下流排水機場・江見手水門・九州電力の工事もあり6月5日に試運転を終えた。



みんなが安心して暮らせる 水害対策、流域治水の取組



また7月6日・7日には、下流域区長（迎島・出来島・中津・大野・林慶・大島・柳島・龍尾）にお願いし、吉野ヶ里町生産組合議会事前排水・田んぼダムのお礼と今後の協力をお願いに出向いてもらう。

他に排水機場操作員の方の徹夜での排水、吉野ヶ里町の方々の協力、行政の事前排水、排水ポンプ車での排水。すべての協力で被害は、最小限で済んだと思う。上流か

ら下流まで、全員が協力し水を分散し被害を最小限に抑える。これが流域治水と思うが、神崎市の流域治水の取り組みについて伺う。

嶋産業建設部長 大雨時の市内地域の課題を踏まえたハード・ソフト両面

での効果的な流域治水対策として、短期的な対策、排水ポンプ車の導入と稼働実績を拡充し、短期から中長期対策排水先河川内の整備に取り組む。

議員 今回初めて排水ポンプ車を使用したその結果と課題について。

産業建設部長 3日間稼働状況は、6月30日排水5,240㎡、7月3日排水12,750㎡、7月10日39,950㎡排水し、一定の効果はあったと考える。今後は、操作技術の維持・向上に努める。ポンプ車の定期的点検保守作業も行う。



議員 神高跡地活用と市街地再整備について、現状をどう捉え、どのようなコンセプトをもっているのか。

嶋産業建設部長 校舎移転に伴い、学生等の動線が変わり多くの人が行き交う景色が見受けられなくなった。現在、跡地の利活用は、ヤクルト本社及び住宅用地としての利活用を考えている。少子高齢化が進むなか、将来人口の確保と地域の活性化を図る必要がある、神崎にしかないもの、神崎だからできること、そういった神崎の魅力を生かしたまちづくりを利活用

魅力ある 街づくりについて



のコンセプトとしている。

議員 「変える神崎市」を政策の柱とされている神崎市の新しいまちづくりについて、市長の考えは。

市長 神崎市は、山間地・市街地・農村地帯と大きく3つに分かれ、それぞれの課題が山積している。その課題を解消していくしながら、中期的、長期的計画に基づいて、今種蒔きをしている。

大事なのは、住みやすく、安心して暮らせるまちづくり、これがベースである。特に大きな課題の一つとして、神崎駅北口の開発があり、学園都市構想として大きく取り

組みたい思いがある。
議員 神高跡地活用として、集合住宅や生活関連商業施設も検討されたい。神高女子サッカー部、強豪チームで他校との交流試合も多いと聞く。スポーツ振興のまちづくりとして、駅に近い立地条件下、多目的公園の利活用としてサッカー場の整備を提案する。
総合計画では、神崎駅周辺の拠点整備・吉野ヶ里歴史公園と連携した整備促進が計画されており将来を見据えた対応を期待する。
産業建設部長 関係機関とも協議する。



神崎高校跡地整備イメージ

議員 市内の医療機関に人工透析が出来る施設の建設など要望したことはあるのか。

佐々木健康増進課長 市から要望や依頼を行ったことは無いが、人工透析が出来る施設が必要とは

議員 市内に人工透析が出来る医療機関がないのはなぜか。

森田市民福祉部長 中部保健医療圏内において透析ができる医療機関は15か所、県内の透析が出来る医療機関の約半数が神崎市も所属している中部保健医療機関に集まっている。通院時間もおおむね30分以内となっている。



市民の健康増進に係る施策は

認識している。

市で透析医療機関の情報を把握した際は市内への開設を依頼する。

議員 各種災害により、透析医療機関への通院が困難な場合の対応は。

大坪高齢障がい課長 台風や大雨など事前予報により当日通院が難しい場合は、かかりつけ医療施設と調整されている。また、平時において、福祉有償運送などの利用について確認していただいで

森田市民課長 市民の健康管理に寄与するものであり、脳疾患の早期発見、早期治療のためにも検査費用の助成事業の実施に向け前向きに取り組んでいく。

いる。

議員 脳ドックは、認知症の早期発見、早期治療、他の脳疾患の発見にも有効と思われるが、国民健康保険事業の脳ドック助成は出来ないか。

森田市民課長 市民の健康管理に寄与するものであり、脳疾患の早期発見、早期治療のためにも検査費用の助成事業の実施に向け前向きに取り組んでいく。



収穫間近のパパイヤ栽培（10/4 撮影）



青パパイヤを特産品に

野回 英樹 議員

議員 神崎駅北口に試験栽培されているパパイヤ栽培の今後の計画は。

松永農林水産担当理事 神崎駅北口の一区画の約

1300㎡に180本の苗を定植し、収量を3トンと見込んで試験栽培に取り組んでいる。パパイヤは多くの栄養素を含んでおり、ダイエット効果や美容効果などが期待されることから、西九州大学や市内の企業と産学官の連携を図り、商品開発に向け、調査・研究を行っているところである。今年度で生産量の見込みが

立てば、市内における生産拡大を行い、特産品として県内外への流通を検討していきたいと考えている。

議員 販路についての考えは。

農林水産担当理事 現時点では具体的な販路は未定であるが、まずは市内の直売所などにおいて、レシピと併せ、販売や飲食店での食材としての提供、市内企業とコラボした製品の開発、流通を行うなど、多角的な視点から販路開拓を行いたいと考えている。

その他の質問

- ・排水ポンプ車について
- ・防犯カメラの設置について
- ・市職員の負担軽減について
- ・国スポ・全障スポ2024について



中島総務企画部長 神崎市地域防災計画において、避難所機能を有する公共施設を避難所として指定していることから、これらを変更することは現時点では困難と考える。しかし、今回の神崎市中央公民館周辺が冠水したことを教訓とし、城原川の氾濫が予測される事態が生じた場合は、より安全な避難所へ避難していただくなど、市民の

議員 7月豪雨において、神崎市中央公民館への避難が困難な状況であったが、城原川沿線における避難所について再検討するべきではないか。



末次 勝 議員

神崎市の今後の水害対策について



安全を確保するための対策に努める。

議員 国宮クリーク三田川線の事前排水について、もっと水位を低下することはできないのか。

一番ヶ瀬農政水産課長

事前排水では、排水先の筑後川の水位を見極め、有明海の干満の差に合わせ、河川水位や制水門の上流・下流の状況を見極め、慎重に排水操作を行う必要があります。可能な限り水位を低下させている。営農活動や、自然現象に加え、低平地である



令和3年8月豪雨時に内水氾濫した中津地区

事業費が莫大となることから、手動式から半自動化、及びはしごから階段への更新と、迅速な操作と操作員の安全確保を図ることとする。開口部拡大については、国や県の補助事業の活用で事業化を考える。

議員 中津地区の樋門の開口部拡大についての要望書について。

松永農林水産担当理事

八谷福祉事務所長 発達支援児の入園時の受け入れ及び父兄への対応は、こども家庭課では入園申し込み時、保育園は園見学时に障がいの状況や主治医の意見、家族が保育園に望まれるもの、救急時に家族を含めた体制などを確認している。

議員 発達障害の医療的診断が出来るのはダウン症のみであり、年齢や環境により目立つ症状が違ってくるので、診断された時期により診断名が異なることもあり判断が困難な病とされているが、保育園入園時の父兄を含む対応はどの様になされているか。



佐藤 知美 議員

非常に複雑多岐な発達障害



議員 発達支援児については、全体で支えていくことが必用だと思いが、園の職員やほかの父兄との共有はなされているのか。

福祉事務所長 園児の発達の不安を抱える保護者にとってプライバシーに関わる問題でもあり、保護者の意向に配慮しほかの父兄との共有はしていないが、発達支援児の保護者がほかの園児の保護者や地域の方々とのかわりを求めて見守りを行うことを希望されれば支援を行う。

議員 九月二日に西九州大学主催で発達障害支援フォーラムが開催されているが、大学からフォーラム開催の連絡や紹介はあったか。

佐藤こども家庭課長 保育園の方に通知を頂いている。支援児の療育支援については、令和3年より3ヵ年事業として県療

育支援センターにより市保育園が指定を受け、医師、言語聴覚士など障害児発達専門員を招いて子どもの様子を見て頂き、保育士へのアドバイスを受け実践してきた。その知識と経験を生かし4年度からは、おひさまルーム子育て懇談会として療育や子育て全般の相談を行い、今年度は6回開催予定。



議員 ふるさと納税PR

ふるさと納税PR
る。

ふるさと納税制度
改正について

議員 令和5年10月からの制度改正の内容と市への影響は。

宮地財務等担当理事 募集に要する費用について、寄附金額の5割以下とする募集適正基準の改正、地場産品基準の改正となっている。影響については、寄附金額や返礼品単価の見直しにより、寄附者目線からのお得感の減退による寄附金額の減少が想定されるため、情報発信やPRを今以上に知り認知度向上を図る。



原口ひさよ 議員

安心・安全の 楽しい児童クラブ



強化業務の状況について。

財務等担当理事

S N

S、メールマガジンによる情報発信、特設サイトの開設をして、魅力ある返礼品開発及び情報発信に努めている。

放課後児童クラブ
について

議員 防犯・防災に対する備えは。

平山教育部長 消防計画や要配慮者避難計画等を



放課後児童クラブの様子

策定し配備している。

その他、緊急連絡網を常備、設置し不審者や事故、けがの対応にもマニュアル化し全ての支援員に認識させ共有している。

議員 クラブの熱中症対策について。

江頭社会教育課長 外気温や湿度等を注視し、適切な活動時間や活動場所、活動内容を決定している。また、児童の健康観察、細かな水分補給に努めている。

議員 全国的には一部の自治体では実施しているところもある。市の財政的な面を考慮し、せめて第2子以降の保育料の無

料化を求める。
無料化は本来、国が安定的な財源確保等により実施すべきものがあるが、昨年の市若手職員のプロジェクトチームでも同様な意見があり、市でもこの件も含み「子育てしやすいまちづくり」をテーマに調査研究をしている。

八谷福祉事務所長 完全無料化は本来、国が安定的な財源確保等により実施すべきものがあるが、昨年の市若手職員のプロジェクトチームでも同様な意見があり、市でもこの件も含み「子育てしやすいまちづくり」をテーマに調査研究をしている。



福岡 清道 議員

保育料、 第2子以降の無料化を



料化を求める。

佐藤こども家庭課長

市

でも保育料の完全無料化、第2子以降の無料化、そのなかで第2子の判定の仕方についても研究をしている。国は第2子以降の判定は世帯の収入にもよるが、小学生の学年以上については無料化の対象から外れるとしている。市の考えは生計を同一にしている子どものうち、最年長者を第1子、その下を第2子として考

えている。

議員 子育て支援は市の将来を左右する最も大事な施策である。市長の考えを問う。

市長 このことについては当然力を入れていく。一つ一つできるところから取り組んでいきたい。

議員 財政を担う副市長の考えは。

副市長 当初予算の中で少しずつ反映させていきたい。



のびのび育て神崎の子
(ちよだ保育園園舎)

一番ヶ瀬農政水産課長
農地が被災した場合、150m以内に別の農地の被災箇所があれば、各工事費を合わせ40万円以上となり、一ヶ所の工事として国庫補助の対象となる。本災害として申請が可能である。

議員 7月10日夜明け前、脊振町で線状降水帯の発生により、城原川が越水し、農地・農業用施設、道路などが被災した。国庫補助対象外の小災害と国庫補助対象である本災害を比較した場合、農家負担の格差が大きい。本災害として適用する方法等により農家負担の軽減策はないのか。



小災害の負担金をどう考える



議員 小災害復旧事業の補助率のかさ上げ等、農家負担の軽減を図ることはできないか。

松永農林水産担当理事

国庫補助事業の採択要件を満たすことのできない被災箇所については、神崎市小災害復旧事業補助金を活用した災害復旧となる。受益者の負担が大

きくなることも承知している。

毎年のように繰り返し発生する自然災害、これに係る災害復旧事業費の負担が起因し、営農意欲の減退、また、離農・遊休農地の発生などにつながるような対策を講じる必要があると考えている。



城原川の越水によって被災した農地

議員 東部地区に住宅開

議員 昨年8月に答弁された人口減少対策プロジェクトチームのメンバーは。



千代田東部地区の人口減少対策は



発や需要が少ない要因は。

産業建設部長

軟弱地盤対策や通学・買い物の不便性及び浸水被害が受けやすい。

議員 大胆な政策を打ち

出さないと来て貰えないので、例えば、杭基礎の補助として100万円補助とか。交通対策として、軽自動車1台を補助するとかの方策の検討が必要と思うが。

市長 他市でも人口減少



開発が望まれる下神代住宅跡地

国・県道の整備促進を

議員 国道・県道の工事進捗が遅いと感じるが。

産業建設部長 地元の協力を得ながら、国・県と連絡調整を密に図りながら、連携を図っていく。

平山教育部長 教員の労働時間の長さや業務量の多さは教員の成り手不足の要因の一つであり、本

議員 文科省の調査によると公立学校の教員の平日1日当たりの平均勤務時間は、小・中学校共に11時間を超え、小学校では3割、中学校では6割が1か月の時間外勤務が過労死ラインとされる80時間を超えている結果であった。国においても、教員を支えるスタッフの大幅増や業務上のネットワーク構築整備などを盛り込むなど教員の体制充実を図るよう勧められているが、本市の進捗状況はどうなっているのか。



木原 憲治 議員

教職員の働き方改革の進捗状況は



市においては教員が学校で業務に当たる時間と負担を軽減させるために、これまででも行事や会議の在り方を見直したり、ICTや様々な人的支援を活用し、学校現場の業務改善を行ってきた。

議員 中央教育審議会より緊急提言がなされたがその内容は、

教育部長 具体策の一つ目は、授業時数についての点検、二つ目に教員の授業や事務作業をサポートする教員業務支援員の増員、三つ目は小学校の



教職員の働き方改革と部活動の地域移行が推進されている

教科担任制について、四つ目は学校の校務へのAIを活用する具体策についてであった。今後とも様々な取り組みを通して教員の一層の負担軽減を図っていきたい。

その他の質問

・全国学力・学習状況調査結果について
・中学校の休日部活動の地域移行の状況について
・公立小中学校の体育館にエアコン設置について

議会の動き（令和5年7月～10月）

7月4日 東京都町田市議会より行政視察受入
4～5日 総務常任委員会行政視察研修（大阪府・兵庫県）
6～7日 議会広報編集特別委員会行政視察研修（宮崎県）
11日 全国市議会議長会基地協議会第106回理事会（東京都）
議会広報編集特別委員会
13～14日 文教厚生常任委員会行政視察研修（広島県）
20日 議会広報編集特別委員会
27日 議会広報編集特別委員会
28日 神崎市議会意見交換会（脊振・神崎）
29日 神崎市議会意見交換会（千代田東部・中部・西部）
30日 神崎市議会意見交換会（仁比山・西郷）
31日 令和5年度防衛省全国情報施設協議会総会
8月2日 令和5年度知事・市町議会議長懇話会（佐賀市）
3日 令和5年度佐賀県市議会議長会議員研修会（武雄市）
7～8日 産業建設常任委員会行政視察研修（鹿児島県）
7～9日 佐賀県市議会議長会議長視察研修（宮城県）
10日 令和5年8月第3回神崎市議会臨時会

議会運営委員会
全員協議会
23日 産業建設常任委員会
24日 文教厚生常任委員会
29日 議会運営委員会
総務常任委員会
9月1日～10月5日 令和5年9月第4回神崎市議会定例会
1日 全員協議会
6日 議会広報編集特別委員会
13日 令和5年度予算特別委員会
14日 産業建設常任委員会
15日 文教厚生常任委員会
17日 総務常任委員会
20日 議会改革検討特別委員会
議会運営委員会
25～10月2日 令和5年度決算特別委員会
3日 議会運営委員会
4日 全員協議会
5日 全員協議会

山口義文議員の訃報について

市民の声を大切に、市民の想いを行政に、すみやすいまちづくりを目指された山口義文議員が、去る令和5年8月19日、逝去されました。

故山口義文議員は平成17年2月の神埼町議会議員補欠選挙に当選後、令和5年8月にいたるまでの通算6期約18年5カ月の永きにわたり在職され、平成30年4月から令和2年4月までは神埼市議会の議長として、市の発展のため尽力されました。

ここに、生前のご功績をたたえとともに、謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。



山口義文議員の逝去を悼む

神埼市議会議長 田原 和幸

神埼町時代も含め3町村合併以降約18年5カ月の長きにわたり神埼を安心安全に暮らせる地域にしたい、との思いをもって議員活動を続けられ、また、第7代の議長として指導力を発揮され市政浮揚に貢献されました。

「人の気持ち、思いを裏切らん」（これが彼の信条！）また、気遣い、心遣いの在り様は、身近にいて感服しました。風体とはかけ離れた繊細な神経の持ち主、若いころから様々な人々との交流、付き合いの中での「喜怒哀楽」、心の「あや」を感じて歳を重ねたんですね。

“今の立場、立ち位置は周囲の皆さんのおかげけん、俺は感謝しかなか。感謝感謝感謝ばん。”彼が度々口にしていた言葉です。「あやとり第1号」で追悼するにあたり、市民の想いを形にいくために、手を取り合って行動することをお誓いします。

山口義文さん、御見守りください。



～在りし日の山口義文議員の姿～



新愛称「あやとり」特集記事



神崎市議会だよりの愛称募集を行い、神崎中学校1年生の千住真奈香さん^{せんじゅうま な か}が応募してくださった「あやとり」に愛称が決定しました。愛称決定に伴う記念品贈呈式を行い、併せて、応募者の千住真奈香さんに「あやとり」に込めた想いなどについてインタビューをしました。

「あやとり」に込めた想いを教えてください

あやとりは、形を変えながら様々な美しい模様を作っていくもので、それを神崎市に当てはめました。神崎市議会と神崎市のみんなで、文化や人との関わり・繋がりを作って、和を広めていけたらいいなという思いを「あやとり」に込めました。

どんな議会だよりを読んでみたいですか

議会で決まったこと、問題をどうやって解決したのかという記事が読みたいです。また、市議会議員の紹介などがあると、子どもたちも親しみを感じて読むきっかけになるとと思います。

神崎市のどんなところが好きですか

近所の皆様や、見守りをしていただいている方々から助けてもらったり、親切にしてもらったことがあるので、人と人との繋がりや温かみがあるところが好きです。



せんじゅうま な か
▲千住真奈香さん



▲インタビューの様子

編集後記

紅葉が一段と色を増す季節となりました。九年庵も一般公開され、今しか見られない絶景を多くの皆さまに味わっていただきたいと思います。暦では立冬が過ぎ、秋の深まりとともに寒さも深まってまいりました。一年で最も体調を崩しやすい時期と言われるので、お身体ご自愛ください。

さて、5月に市民の皆さまにこの議会だよりの愛称を募集してから、本号より『あやとり』となりました。『あやとり』と言えば、娘がまだ小さいころによく遊んでいたことが思い出されます。親しみや温かさを感じられる『あやとり』のように、皆さまの身近に感じられる議会だよりの作っていききたいと思っています。市民の皆さまと手を取り合って和をつなげられるよう、議員一同、市民の負託に応えるために頑張ってまいります。（記 末次 勝）

議会広報編集特別委員会

委員長	佐藤 知美	委員長	副島 英樹
副委員長	平山 文也	副委員長	徳川 博人
委員	白石 昌利	委員	末次 勝